

自分らしさ＝甘え

校 長 武井 正明

朝の車中。ニュース番組で女優天海祐希のインタビューを聴いた。

歳は私とほぼ同年代。凛とした佇まいと気品が漂う。常に映画界、芸能界の第一線を走り続ける素晴らしい女優さんだ。

そのインタビューの中で、頷く部分がたくさんあった。

「今自分が、お客様から観ていただける立場をいただけていること、こんなにありがたいことはない。だから、自分に厳しくならなければいけないのは当然のことです」

自分の今いただいている立場に常に感謝しなければ。ついつい傲慢になっている自分をいつも戒めていかなければ。朝からビシッと気合を掛けられた気分だ。

「歳を取ると出来ることとできないことがはっきりしてくる。だから、出来ることをしっかりやり、出来なことは最初からしないから方向を考えやすい」

その通りだ。中学時代などは、特に可能性や興味がいっぱいあるから、どれにも手を出したくなる。そして結局どれもモノにならなかった、なんてよくある話だ。趣味のゴルフで同じことをよく思うなあ…。

そして、なかでも思わず唸ってしまった彼女の言葉がある。それは…

「自分らしさ、という言葉は甘えだと思うのです」

自分らしさがわかるのは自分だけ。つまり、判断基準は他者ではなく自分。だから、自分でどのようにでもその基準は上げ下げできる。すべてを「自分らしさ」という言葉で包んでしまえば、いくらでも甘えられる。

だから、「自分らしさ」とは魔法の言葉であり、同時に悪魔の言葉でもあるのです。

あらためて天海祐希、すごいな。この人は、才能や運がいいだけで第一線を歩いてきた人じゃない。この人が成功している根幹は、この生きる姿勢なんだ。

さらに、その言葉を、周囲の人たちに向けるのではなく、自分自身に厳しく向けているところがすごいのだ。

まもなく二学期も終わる。いろんな方々に助けていただいて、子どもたちに力をいっぱいもらいながら、ありがたい一年が終わっていく…。

そんな時、ふと自分に問い掛けてみる。

お前、調子に乗っていないか？周りの人たちに対して、傲慢になっていないか？

年が明ければ、三年生はいよいよ勝負の時がやってくる。

来年は、まず三年生が、それぞれの進路の実現に向けて、余計なことを考えずに全集中できる環境づくりに全力を尽くす所存だ。